学校番号	３０１１

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新編言語文化」（東京書籍出版）						
副教材等	常用漢字クリア五訂版（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・予習復習を欠かさないようにしてください。
・様々な文章を「読む力」を向上させるとともに、意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まで諦めずに取り組みましょう。
授業中は、板書を書き写すだけではなく、授業のポイントや自分で気付いたこと、クラスメイトの発言した内容などをプリントの枠外に記入していきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	随筆―生きる喜び― ［教材］ 「さくらさくら」	a：常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 b［　読　］：・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：進んで日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを整理しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 パフォーマンス 課題	ワークシート 振り返りシート 行動の観察
	小説―触れ合う心― ［教材］ 「とんかつ」	a：常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［　読　］：・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価している。 c：進んで本文に描かれた出来事や会話，行動の描写を捉え，学習課題に沿って，登場人物の心情とその変化を読み取り，主題について考えようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 パフォーマンス 課題	ワークシート 振り返りシート 行動の観察
	古文入門―古文の世界へ― ［教材］ 古文に親しむ	a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。 b［　読　］:「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 パフォーマンス 課題	ワークシート 振り返りシート 行動の観察

		c：進んで音読して古典の世界に親しみ，学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取ろうとしている。			
	古文入門―古文の世界へ― ［教材］ 「児のそら寝」	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。 b［　読　］:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：進んで歴史的仮名遣いについて理解し，学習課題に沿って説話のおもしろさを読み取ろうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート 行動の観察
	古文入門―古文の世界へ― ［教材］ 「絵仏師良秀」	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。 b［　読　］:「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：進んで文語の活用について理解し，学習課題に沿って叙述を基に人物像を読み取ろうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート 行動の観察
二学期	詩歌―命をうたう― ［教材］ 柳あをめる【短歌】	a：言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［　読　］:・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート 行動の観察

		や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。 c：進んで短歌の特徴や表現効果を理解し，学習課題に沿って，それぞれの歌にこめられた情景や心情を読み取ろうとしている。			
	小説―葛藤する心― ［教材］ 「羅生門」	a：常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［　読　］:・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において，作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c：進んで描かれている内容についての見解をまとめ，学習課題に沿って，発表や討論を通じて得た他の意見も踏まえながら，考えを深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート 行動の観察
	小説―言語活動― ［教材］ 元になった古典作品と読み比べよう	a：言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。 b［　読　］:・「読むこと」において，作品や文章の成立した背景やほかの作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において，作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えを持っている。 c：進んで古典を元にして作られた作品についての理解を深め，学習課題に沿って，古典を元にして作られた作品と原作との違いや創作性について考えようとしている。	ワークシート	ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート 行動の観察

	詩歌―言語活動― ［教材］ 短歌を作る	a：本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。 b［　書　］:「書くこと」において，自分の体験や思いが効果的に伝わるよう，文章の種類，構成，展開や，文体，描写，語句などの表現の仕方を工夫している。 c：進んで短歌の構成や語句などの表現の仕方を工夫し，学習課題に沿って，自分の感じたことや伝えたいメッセージなどを，古典的技法に倣って効果的に書こうとしている。	ワークシート	ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート 行動の観察
	随筆―日々の思い― ［教材］ 「奥山に、猫またといふものありて」	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。 b［　読　］・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。 c：進んで文語のきまりや古典特有の表現を理解し，学習課題に沿って作者の考えを的確に捉えようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート 行動の観察

	物語―古人の生き方― ［教材］ 「芥川」	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。 b［　読　］:・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。 c：進んで歌物語の特徴や表現の仕方について理解し，学習課題に沿って，各章段に描かれた内容を的確に捉えようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート 行動の観察
三学期	漢文入門―漢文に親しむ― ［教材］ 訓読の基本 「守株」 「五十歩百歩」	a：常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。 b［ 読 ］:「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し，見通しを持って，古典を学ぶ意味について考えを持とうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 パフォーマンス課題 ワークシート	ワークシート 振り返りシート 行動の観察

	漢詩―漢詩を味わう― ［教材］ 絶句と律詩―七首 「鹿柴」 「春暁」(孟浩然)	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。 c：進んで漢詩の形式ときまりを理解し，学習課題に沿って，漢詩に描かれた情景や心情を読み取り，優れた表現に親しもうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート 行動の観察
	漢詩―言語活動―	a:古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。	ワークシート	ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート 振り返りシート 行動の観察

	［教材］ 訳詩を書く	b[書]:「書くこと」において，自分の知識や体験の中から適切な題材を決め，集めた材料のよさや味わいを吟味して，表現したいことを明確にしている。 ・「書くこと」において，自分の体験や思いが効果的に伝わるよう，文章の種類，構成，展開や，文体，描写，語句などの表現の仕方を工夫している。 c:進んで言葉の選び方や表現の仕方を工夫し，学習課題に沿って，元の漢詩の魅力が伝わるように訳詩を書こうとしている。			

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　６０　）時間